

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

1月の活動予定

1月9日(火) 第一例会
1月23日(火) 第二例会

1月2・3日(水・木) 冬合宿戸隠山

1月14・15日(土・日) ウィンターミーティング八ヶ岳
冬山技術研修
CL…

1月27日(日) 黒斑山～蛇骨岳
CL…

2月の活動予定

2月5日(火) 第一例会
2月19日(火) 第二例会

2月16・17日(土・日) 金時山・箱根山・天城山
道の駅1泊
CL…

3月の活動予定

3月7日(火) 第一例会
3月19日(火) 第二例会

3月2・3日(土・日) 長山協 雪山交流会

3月23日 or 24日(土) 鍋倉山
CL…

3月30日 or 31日(土) 角田山
CL…

今年度の会費の納入をお願いします。
八十二銀行
普通預金
名義 山岳クラブホワイトバーチ長野
会員：6000円
会友：2000円
よろしくをお願いします

12月の活動報告

12月2日(日) 武甲山(1304m)

参加者：

秩父市の200名山ピラミッド型の山です。セメント原料石灰岩採掘で山肌が痛々しい感じです。(東京にビルが建つたびに武甲山の身が削られる)山頂横まで車で行ける感じでした。

1 表参道～裏参道コースおよそ4時間(下山口鍾乳洞あり 駅まではおよそ計5時間)

2 ミニ周回コースおよそ4時間

3 健脚周回コースおよそ6時間

今回はやはり最長の3番でした。

登山口までの工場地帯も登山者がちらほら歩いていましたが駐車場(生川一の鳥居、狛犬ではなく狛狼)ほぼ満杯状態でした。登山道には石碑があり1丁目～15丁目コンクリートの道(山頂まで52丁目まであります)そこから静かな杉林にはいります。都会の皆さんは休まずぐいぐい行きます(驚いた)33丁目大杉の広場(樹齢4、500百年杉大木)で私たちは休憩しました。

山頂には御嶽神社と釣鐘。山頂からは両神山や浅間山秩父のまちが見渡せます。神社の回りではおもしろいおもしろい皆

さん休憩されています。下山はシラジクボ、小持山(昼休憩)、大持山、妻坂峠経由で駐車場生川一の鳥居に周回して戻ってきました。物見遊山で来たのになかなかハードでした。秩父夜祭で街中の混雑を考えて寄らずに一路長野へ帰還いたしました。さん長～い運転大変ご苦労様でした。()



長野 5:30＝駐車場生川一の鳥居 8:30/8:55＝大杉の広場 10:00＝山頂 10:45/11:05＝シラジクボ 11:40＝小持山 12:25＝大持山 13:18＝妻坂峠 14:00＝生川一の鳥居 14:40/14:50＝長野 17:50

12月9日(日) 鍬ノ峰

参加者：

天候：晴

安曇野から見上げる鍬ノ峰は、小振りな双耳峰で整った山容をしている。今回は北側から登り南側へ下山のルートを歩いた。

常磐コース登山口へ車をデポし、仏崎コース登山口の観音寺へ戻る。庫裏の広い前庭に駐車をさせてもらう。獣よけの金網の扉を通り急斜面の階段づたいに鐘撞堂へ。現在は自動で鐘を鳴らしているとか・・・この急坂を上り下りのおつとめは大変だった事でしょう。安曇野を眺めながら「ゴーン」と4人で朝事。



始めの急勾配では踏み跡のはっきりしない所もあったが、石祠を越えるとその心配も無くなり、右側にシャクナゲの林が現れ始めた。コブを越し、ロープが張られた急登を過ぎて第1左折点、小さなピークを越え



り返して第2左折点。立派に成長したシャクナゲ林が続き眺めが得られない。地形図の1526メートルあたりから樹林から解放され快適な登山道になった。山頂まで多少の雪があったもののアイゼンを着ける程ではなかった。

山頂からは下方に大町ダムが見え、眼前に餓鬼岳がそびえ立つ。ゆっくり眺めたかった山々も生憎

のガスで時々顔を見せてくれただけ。残念！常磐コースへの下りは急下降、注意をして慎重に下る。高压線鉄塔からは良く手入れされた登山道となり無事に常磐コース登山口に到着した。

長野 6:00	—	仏崎観音寺 7:50/8:10	—	第1左折点 9:15	—	第2左折点 9:45	—	1526m地点 10:55	—	山頂 11:15/12:25	—	常磐コース登山口 13:55	—	観音寺P 14:20	—	長野
---------	---	-----------------	---	------------	---	------------	---	---------------	---	----------------	---	----------------	---	------------	---	----

12月15・16日 霞沢岳

参加者:

積雪が無いと岩稜帯も笹やぶも歩きづらいとの情報で、12月に延期。なので、物見でアイゼン履いて信大ルート、東側、懸垂下降も練習することができて、一安心。寒波到来で降雪にわくわく、深夜2時集合で寝不足？とザックの重みに不安倍増で参加。(緊張のせいかな？眠くはならないことがわかった。普段が寝過ぎかな？)

釜トンネル前に荷物を置いて、体力のあるお二人が坂巻温泉まで駐車しに戻ってくれました。ありがとうございます。釜トンネル内の風は冷たいと思っていたら、暖冬のせいか寒くありませんでした。上高地トンネルを出るころには合流して、雪がちらつく暗闇の中へ出発。本当に真っ暗だった。工事事務所の看板から入り、左側斜面にある取り付けを探す。ロープが付いているのだが、笹に隠れて見つけずらかった。最初から急斜面。ロープを掴みながら上がるが、20~21kのザックの重みが肩にずしりくる。こんな所で滑ったらドミノ倒しだ！と思い緊張した。尾根に上がった所も笹藪で、少しの降雪と急斜面の為アイゼン付ける。笹がアイゼンに引っ掛かって止められてしまい、脚への負担が大きい。赤テープが少ないので、持参したテープを付けた。とに

かく、急斜面続きで休憩適地もなかなか無い。倒木の下をくぐる、跨ぐ、笹を掴む、木を掴む、ピッケルを打つ！で、常に何かに頼っていた気がする。テンバ直下の超急斜面には難儀したので、テンバ適地と言われた時はホッとした。雪があれば笹も隠れて適地だが、笹はニョキニョキ、さらさらの少雪で踏み固める事もできず、雪を集めるのに時間がかかり、整地しづらい。テントの中から窪みに荷物を置いて平の床を作成。なるほど！雪を溶かして水作成。久々のテント泊で美味しい鍋を囲み楽しい一時を過ごす、4人用テントなのに実質3人テントに4人で寝る狭さ。ぎゅうぎゅう。

早朝、準備していると信大の学生さん5人が上がって来る。ぐいぐい大股で行ってしまう。我らも暗闇の中を出発。朝が明けてくると樹林の中から、乗鞍岳や穂高方面が見えてくる。樹林帯を過ぎナイフリッジと言われる所は雪が無いので、トラバース気味に木を踏みつけて歩く。左右の展望良い。岩場を先行した学生達が登っている。「あんな所をすごい！」トップのあっちゃんにザイルを張ってもらい、安心してプルーゾックで上がる。焼岳を背にしてザイル操作し確保している「あっちゃん」がとてもカッコいい！

ここから、山頂へゆっくりな傾斜を登って行くがハイマツの上は歩きづらい。左奥の低そうに見えるピークが山頂。徳本峠からのK1.K2のピークも見え、目前に穂高岳がバーンと大迫力！山頂まで来れて良かった。感極まる。双六岳、笠ヶ岳、白山、乗鞍、御岳山、南アルプスが見え、素晴らしい冬景色だ。満足のいく眺めだった。関西方面から来た日帰り組3人が上がってくる。我らも含めて12人が山頂を踏んだ。岩場でまたザイルを出してもらい、懸垂下降で下る。信大生が新しいような6mmを残置してくれていたの、安心して使えた。天候崩れそうとの情報だったが、何とか1日持ちそう。景色もばっちり眺められた。テント撤収して事故無く



下ろう。昨日の急斜面を後ろ向きだったり、笹を掴んだりして急がず安全に下った。ピッケル様々だった。道路に出た時はホッとした。想像していたよりとても手強い山だった。皆さん！本当にありがとうございました。)

12/15

長野 2:00 坂巻温泉 5:00 上高地トンネル出る 6:00 取り付き 6:20 テンバ 2,100m 11:30

12/16

テンバ発 5:35 山頂 9:45~10:00 テンバ 12:10 撤収下山

13:20 取り付き 15:15 坂巻温泉 16:30 長野 20:00

12月18日(火) アバランチナイト

出席者;

日本雪崩ネットワークのアバランチナイトに出席しました。

第一部は、山岳総合センターの杉田さんによる長野県の遭難状況について報告がありました。

滑走系では雪崩が3番目に多く、登山者では雪崩は9番目とのことでした。

滑走系では移動速度も速く、新雪を求める人が多いこと、雪への刺激も登山者より強く傾向が異なります。山スキーヤーは雪崩に対し特に注意する必要があります。



第二部は、雪崩ネットワークの出川さんによる雪崩対策について講演がありました。

た。

装備、訓練、情報の3つが重要で、プローブでの捜索では限界があり、20人で20時間掛かるプローブのみでの捜索もビーコンを付けていれば5分で見つかるそうです。

当会でも雪山での山行は、ビーコン必携の話が出ていましたが、当然なことだと思いました。

雪の状態の確認、行動計画、リスク管理、捜索活動などなど、内容は盛り沢山。

講演の後半では小蓮華山の雪崩事故、那須岳の高校生が多数犠牲になった事故の説明もあり、色々な意味で刺激になる時間でした。

もっと雪山のこと、雪崩のことを勉強しなければと気持ちを新たにす良い機会になりました。()